

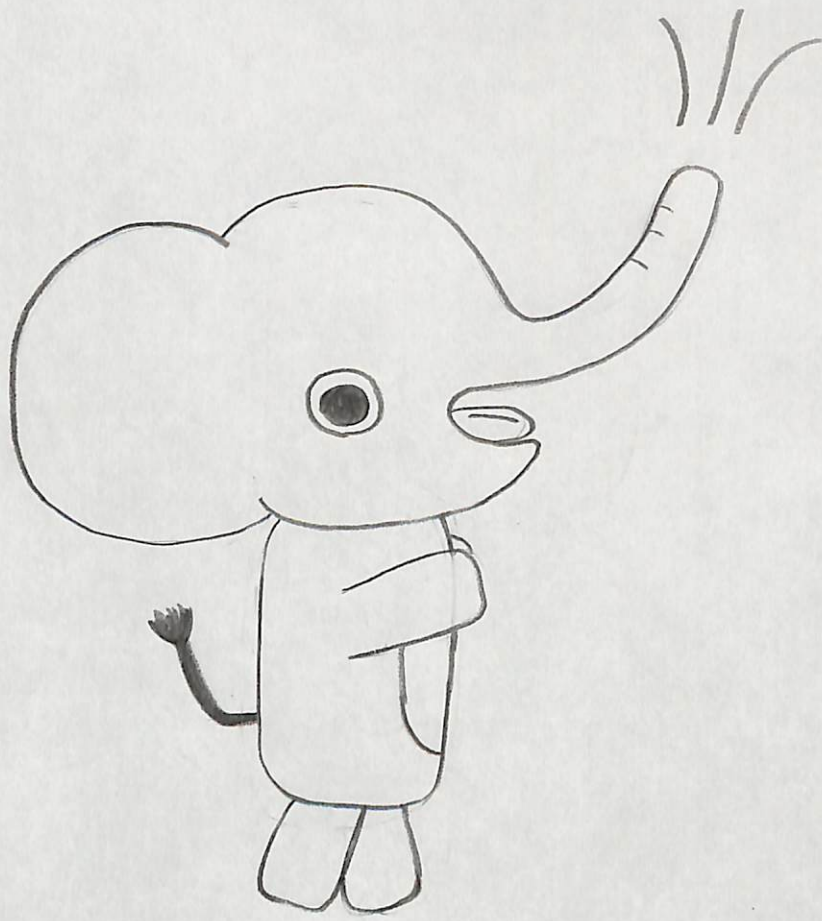
たまくんのそうた"ん

132H020

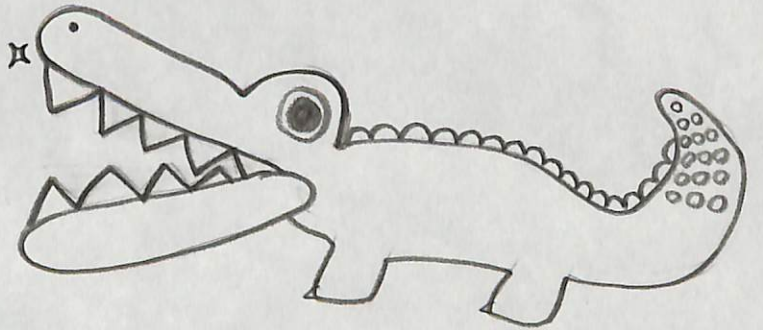
門井一輝

ねこのたまくんはむしがたいきらい。きょうはちょうちょうさんからにげています。たまくんは「なんでおいかけてくるんだよう」とおもっていましたが、このままじゃかわるいとおもったたまくんはおともだちにそうた"んすることになりました。





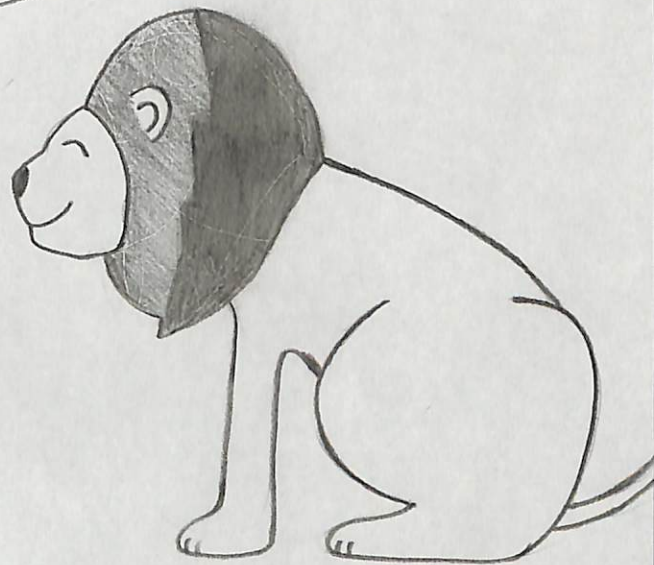
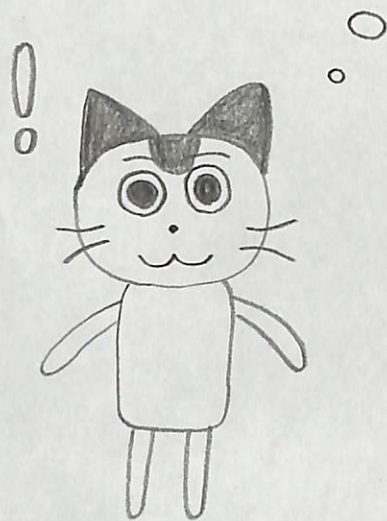
ぞうのぼるちゃんは、はな
でおいはらえはいいとおし
えてくれました。
しかし、たまくんのはなは
ぞうとはちがうのでそれは
できません。



わにのがぶくんは、はでいかく
してやればいいとおしえてくれまし
た。

しかし、たまくんのははわにくん
とはちがうのでそれはできません。

どうしたものかとなやんでいると、らいおんのらいくんをみつけた
のでそうたんしてみました。「らいくん、どうすればましさんからにげずに
すむかなあ。



「そうか、むしがきらいな人だね。なあたまくん、ひとつききたいことがあるんだけど、きいてもいいかい？」

「なんだい？」

「たまくんはむしとはなしたり、さわったりしたことがあるのかい？」
よくか人がえてみると、たまくんはすぐ"にげ"てしまうので"はなしたりさわったりしたことはありませんでした。

「はなしてもさわってもやっぱり"だめだ"とおもったら、またそうた"人し"において。ぼくはここでまってるからね。」

「うん、わかった！」

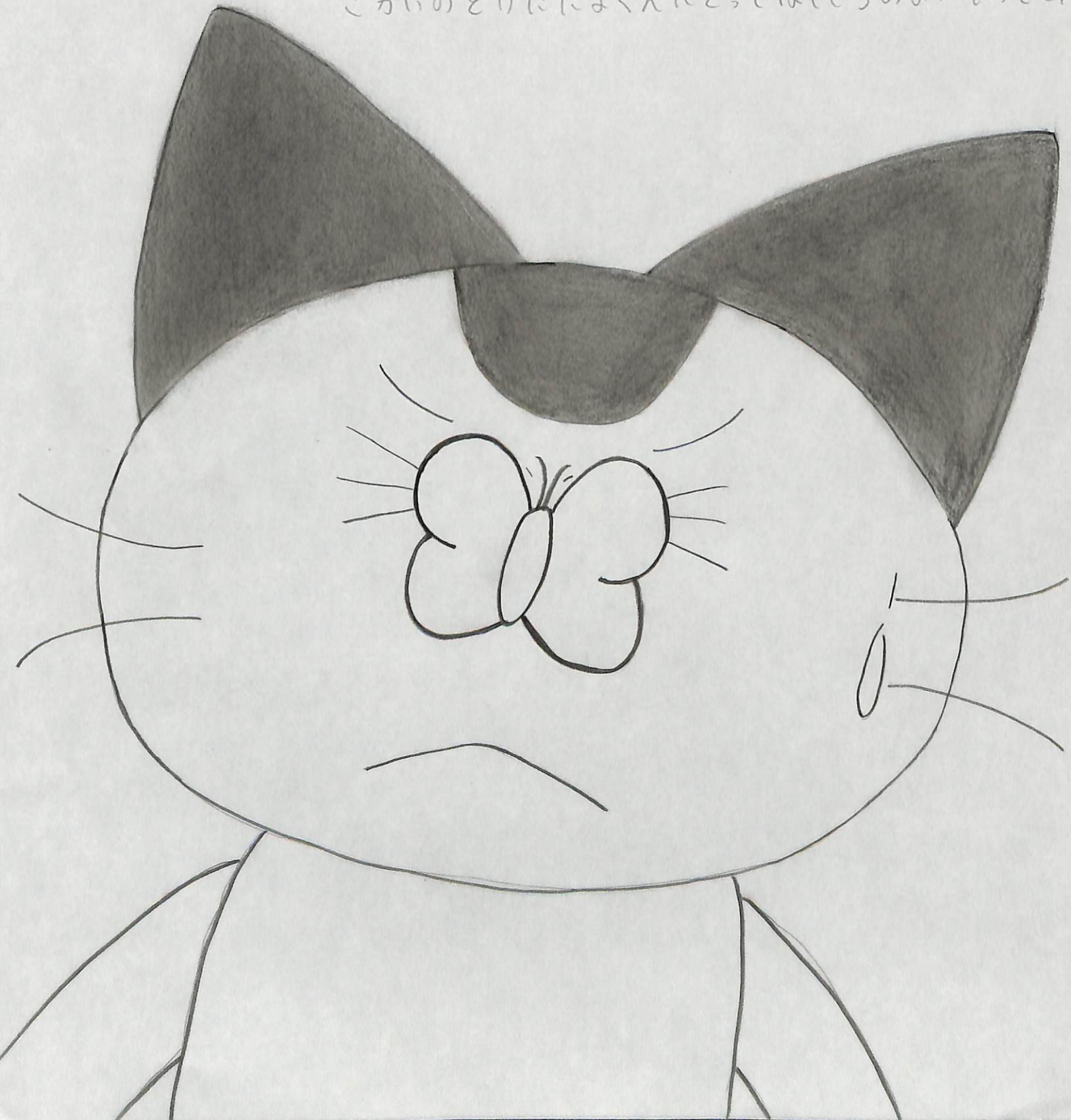
たまくんはちょうちょうさんのところへむかいはじめました。

ちょうちょうさんを見つけるとすぐ"にたまくんははなしかけました。

「人にちは、ちょうちょうさん。」

たまくんにきがついたちょうちょうさんはたまくんのほうにひらひらととんできました。たまくんはもつにげません。するとちょうちょうさんがたまくんのはなにとまりました。たまくんはびっくり!でもにげません。

「やっとおはなしてできたね。ずっとおはししてみたかったんだあ。」とちょうちょうさんたまくんはまたびっくり!! そうか... おいにかけてきていたのは、はなしかけたからなんだ...。ちょうちょうさんがとまっているはながくすぐったいのも、ごかいのとけたたまくんにとってはこちのよいものでした。



「わたし、ひざりっ、ていうの。」

「ぼくはたまっていうんだ。ねえ、おともだちになろうよ。」

ふたりはともだちになりました。どうやらおにごっこをしてあそぶようです。ひざりちゃんをおいかけているたまくんはとってもたのしそう。

よかったね、たまくん。

